

県本部・活動拠点本部会議（8月22日・朝）議事要旨

■決まったこと、全体への連絡事項

- ・ トヨタカ地建アリーナにおいて、支援団体（YMCA、日赤、DMAT 等）と連携し、アリーナ内の支援・避難者情報を一本化・共有管理する作業に入る。

■各拠点からの報告 ※特記事項

● 八代地域

- ・ 要援護者・高齢者の訪問調査が順調に進み、本日より「0歳～74歳のお子様がいる世帯」の調査へ移行。
- ・ 本日 14:00～17:00 にアリーナ内で「夏祭り」を開催予定

● 宇城地域

- ・ 市の意向調査が松橋東地区からスタート（本日まで回収対応、不在票設置により 19:30 まで対応）。明日からは小川地区で開始。
- ・ 小川町社協の災害ボラセンとの現地調査同行、および宇城市包括支援センター（フォーカス）との訪問同行を実施中。

● 氷川地域

- ・ 本日、竜北東小より 4 名、竜北西部小より 6 名が公民館へ移動予定。
- ・ 意向調査済みの 9 名が 8 月 24 日に氷川中学校体育館へ移動予定。
- ・ 母子福祉センターに入所中の「桜ヶ丘別荘」の方は全員「氷川の里」へ移動が決定。空いた母子福祉センターには、竜北東小・竜北西部小から小さなお子様のいるご家族（子育て世帯）が入居する。
- ・ 氷川公民館への移送準備、氷川中体育館の設営・アセスメントを継続実施
- ・ 福祉課からの相談案件について災害支援ナースと連携・検討

● 全体

- ・ 圏域内は 8 月末解消を目処に断水復旧の見通し（八代市環境センターに井戸水利用者の相談窓口あり）
- ・ 罹災証明について、調査率は 50% 台まで上昇（一次調査完了予定は 9 月上旬目処）、交付率は 24% 台。面談時の見通しの目安とする。

■共有事項・確認事項

●福祉避難所としての配慮確認

- ・ 公民館へ移動する避難者（計 10 名）に対し、福祉避難所として適切な対応が可能か DWAT 視点で再確認を行う。

●接触できていない世帯の追跡

- ・ 氷川中移送予定のうち、1 世帯 2 名が昨日役場職員と接触できず未定となっているため継続確認が必要。

●旧豊野小体育館の環境懸念

- ・ 近くでの解体工事とゴミ置き場から多量の粉塵が発生しており、アレルギー患者への対策・配慮が必要（医療調整福祉本部ミーティングにて協議）。

■今後検討が必要な事項

●応援職員派遣の要望取りまとめと人員配置の再検討

- ・ 各現地から「応援職員派遣要望表」があがってきていない現状があるため、人員不十分・懸念のある箇所を速やかに把握し、全社協（本部）へ吸い上げて体制調整を行う必要がある。

●避難環境における粉塵・アレルギー対策の具現化

- ・ 旧豊野小体育館の粉塵問題に対し、医療調整福祉本部等と連携した具体的な防護策（空気清浄機設置、マスク対応、別居スペース検討など）を詰める。

●「氷川の里」への移動に関する詳細情報の把握

- ・ 桜ヶ丘別荘避難者の移動先となる「氷川の里」について、具体的な日程や受け入れ環境の詳細を本日再確認・共有する。